

第 16 章 東台遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

東台遺跡は東武東上線ふじみの駅の南約 1 km、砂川堀右岸の台地上に位置する。砂川堀は狭山丘陵外縁に湧水を成し、武蔵野台地上を南西から北東に流れて新河岸川に合流する。標高は 24 ～ 26 m で砂川堀との比高差は約 5 m で急崖をなし、左岸が緩やかな傾斜を成すのとは対照的である。

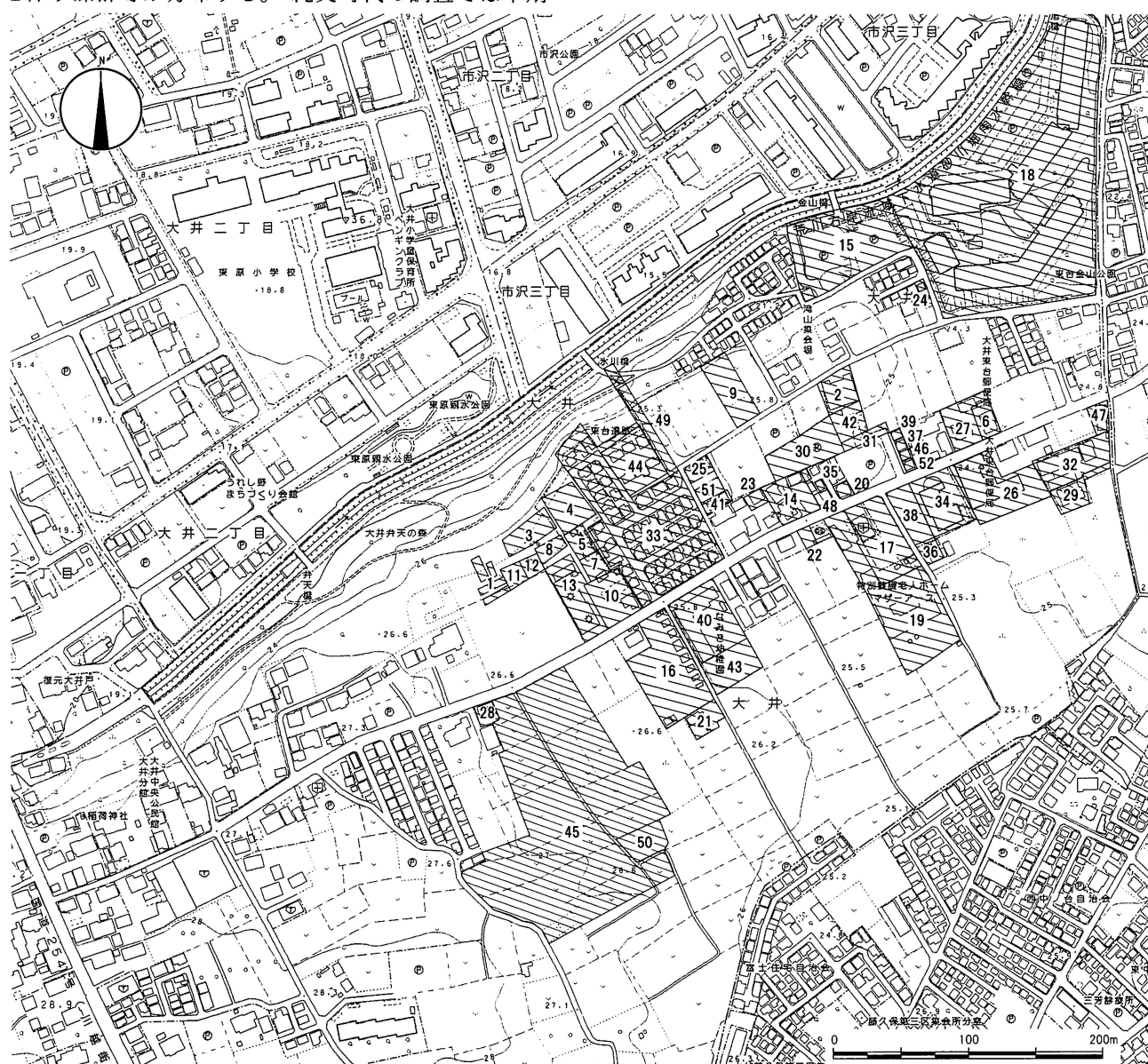
遺跡内には砂川堀に向かって小さな埋没谷が数本確認されている。遺跡の範囲は東西 700 m、南北 250 m、遺跡面積約 170,000 m²、市内で最大規模の遺跡であり、約 17% の 30,000 m² を調査している。

旧石器時代の調査では、第 18 地点の調査で埋没谷に沿った崖沿いに VI・VII 層～IV 層下部のナイフ型石器を伴う礫群等が分布する。縄文時代の調査では早期

1 軒、後期 7 軒、中期 146 軒、不明 24 軒の住居跡等多数の遺構と遺物が確認されている（2010 年 3 月現在）。特に中期の住居跡は双環状に配置しており武蔵野台地縁辺部における拠点集落の一つである。

奈良・平安時代には遺跡の北東部の第 15・18 地点で八世紀後半の製鉄炉や炭焼き窯など、県内でも有数の規模と古さを誇る製鉄関連遺跡を検出している。

周辺の遺跡は、砂川堀右岸の西約 50 m に大井戸上遺跡、西約 300 m に旧石器時代の西台遺跡が位置する。また砂川堀を挟んだ左岸に旧石器時代～近世の本村遺跡が位置する。今後旧石器時代では西台遺跡・本村遺跡との関係が、奈良・平安時代から中世にかけては本村遺跡との関係が注目される。



第 112 図 東台遺跡の地形と調査区 (1/4,000)



第113図 東台遺跡遺構分布図 (1/2,000)

第 53 表 東台遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 () は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	大井東台	1981.		町史編纂事業	遺構無し、縄文中期土器	
2	大井東台 640-7	1981.12.14 ～ 1982.2.13	667	宅地造成	縄文中期住居跡 12、旧石器時代石器	東部遺跡群Ⅲ
3	大井東台 672	1982.5.19 ～ 6.15	666	宅地造成	炉穴 7、土坑 2、柱穴群	東部遺跡群Ⅳ
4	大井東台 671	1982.6.17 ～ 11.18	587	農地転用	旧石器ユニット、縄文中期住居跡 3、後期住居跡 1、集石 4、土坑 14、溝	東部遺跡群Ⅳ
5	大井東台	1983.7.25 ～ 8.9	195	町史編纂事業	縄文中期住居跡 2、土坑 1	東台遺跡
6	大井東台	1984.1.9 ～ 1.12		宅地造成	縄文中期住居跡 1	
7	大井東台 670-2	1984.5.15 ～ 6.13		共同住宅	縄文中期住居跡 4、後期住居跡 1	
8	大井東台 672	1984.8.18 ～ 9.21	345	町史編纂事業	縄文中期住居跡 1、炉穴 2、土坑 14	東台遺跡Ⅱ
9	大井東台	1984.10.25 ～ 1985.2.15	1,000	駐車場造成	旧石器礫群、縄文中期住居跡 22、後期住居跡 1、炉穴、ピット群	大井町史資料Ⅰ
10	大井東台 670-1	1985.10.1 ～ 11.25	896	住宅建設	縄文中期住居跡 5、土坑 5	東部遺跡群Ⅵ
11	大井東台 673	1986.1.14 ～ 3.20	660	宅地造成	縄文中期住居跡 2、集石土坑 3、土坑 1、ピット	東部遺跡群Ⅵ
12	大井東台 673	1987.5.6 ～ 6.26	330	転地返し	縄文早期住居跡 1、土坑 18、平安時代住居跡 2、溝 1	東部遺跡群Ⅶ
13	大井東台 670-6	1988.1.14 ～ 2.27	971	倉庫建設	縄文中期住居跡 9、集石 1、土坑 9、ピット 20	東部遺跡群Ⅷ
14	大井東台 649-16 他	1988.1.27 ～ 2.24	735	住宅建設	縄文中期住居跡 12、屋外埋喪 1、集石土坑 1、土坑 8、ピット 38	東部遺跡群Ⅸ
15	大井市沢 577-1 他	(1989.10.17 ～ 11.10) 1989.11.17 ～ 1990.8.1	700	住宅建設	落とし穴 1、木炭窯 1、粘土探掘坑 2、奈良・平安土器	東部遺跡群Ⅹ
16	大井 713-4.5	(1990.8.1 ～ 4)	3,048	資材置場設置	縄文中期住居跡 1、土坑 1	東部遺跡群ⅩⅠ
17	大井 621-1	(1990.9.5 ～ 12) 1990.10.9 ～ 12.27	1,470	診療所建設	縄文中期住居跡 8、土坑 30、ピット 94、柵列	東部遺跡群ⅩⅠ
18	大井 529-1.588	(1991.3.11 ～ 5.20) 1992.2.24 ～ 1994.7.5	20,000	共同住宅	旧石器礫群、石器集中 17、落とし穴 1、整形製鉄炉 7、木炭窯 9、探掘坑 4、土坑 9、溝、柵列、道路跡、平安土器	東台製鉄遺跡
19	大井 621	(1992.5.31 ～ 6.7)	4,489	特養新設	縄文中期住居跡 8	町内遺跡群Ⅰ
20	大井 649-27	1992.1.30	5	個人住宅	縄文中期住居跡 1	町内遺跡群Ⅲ
21	大井 713-11.12	1992.3.7 ～ 11	299	個人住宅	遺構無し、縄文土器片	町内遺跡群Ⅲ
22	大井 651-6	(1994.5.10 ～ 11) 1994.5.30 ～ 7.30	146	店舗建設	縄文中期住居跡 6、土坑 1	調査会報告 13 集
23	大井 649-12.13	(1995.6.23 ～ 27)	285	個人住宅	縄文中期住居跡 2	町内遺跡群Ⅳ
24	大井 634-20	(1995.7.6)	58	個人住宅	縄文時代集石、土坑	町内遺跡群Ⅳ
25	大井 648-13.14	1995.10.22 ～ 12.16	296	個人住宅	縄文中期住居跡 5、後期住居跡 1、袋状土坑 1、土坑 10、ピット 6	町内遺跡群Ⅳ
26	大井東台 601-1.4.5	(1996.11.6 ～ 18) 1997.1.14 ～ 3.18	2,248	共同住宅	縄文中期住居跡 1、土坑 3、落とし穴 1、ピット 24	調査会報告 13 集
27	大井 600-1	(1997.2.19) 1997.2.19 ～ 3.14	965	個人住宅	縄文中期住居跡 1、炉穴 1、土坑 1、落とし穴 1、ピット 44	町内遺跡群Ⅵ
28	大井東台 710-4	(1997.3.17 ～ 19)	231	個人住宅	遺構無し、縄文土器片	町内遺跡群Ⅵ
29	大井東台 606-3	(1998.2.27 ～ 3.3) 1998.3.4 ～ 5	500	個人住宅	縄文早期炉穴 9、ピット 2	町内遺跡群Ⅶ
30	大井 640-1	(1998.11.4 ～ 12)	1,330	駐車場	縄文中期住居跡 1、屋外炉、ピット	町内遺跡群Ⅷ
31	大井 630-3.640-8	(1999.5.7 ～ 21)	186	道路築造	縄文中期住居跡 2	町内遺跡群Ⅸ
32	大井 603-1	(2000.8.4 ～ 9)	92	製茶工場	ピット 3	町内遺跡群Ⅹ
33	大井 662-1	(2000.8.4 ～ 8) 2000.8.10 ～ 2001.1.25	7,076	分譲住宅	石器群 4、礫群 4、縄文中期住居跡 30、後期住居跡 4、掘立柱建物跡 1、炉穴 14、集石土坑 4、他	町内遺跡群Ⅹ
34	大井東台 624-2	(2002.3.12 ～ 25) 2002.3.26 ～ 5.8	1,414	共同住宅	縄文中期住居跡 5、土坑 11、ピット 16	町内遺跡群ⅩⅠ
35	大井東台 649-31	(2001.9.6 ～ 8)	48	個人住宅	縄文中期住居跡 1	町内遺跡群ⅩⅠ
36	大井東台 614	(2001.10.15 ～ 11.2)	272	倉庫建設	ピット 5、土器片	町内遺跡群ⅩⅠ
37	大井東台 626-12	2001.10.12 ～ 11.5	100	個人住宅	縄文中期住居跡 2、ピット 1	町内遺跡群ⅩⅠ
38	大井東台 614-3	(2002.1.28 ～ 2.15)	787	駐車場	縄文中期住居跡 1、竪穴状遺構 1、集石土坑 2、土坑 2、ピット 2	町内遺跡群ⅩⅠ
39	大井 626-8	(2002.6.3 ～ 20)	100	個人住宅	ピット 3、縄文土器片、石屑	町内遺跡群ⅩⅡ
40	大井 661	(2003.10.6 ～ 11.4)	1,875	幼稚園	土坑 6、ピット 10、柵列	町内遺跡群ⅩⅡ
41	大井東台 648-4	(2004.5.11 ～ 14)	182	個人住宅	縄文中期住居跡 3、集石 1、土坑 1、屋外ピット 1	町内遺跡群ⅩⅡ
42	大井 640-4	(2004.9.7 ～ 17)	515	教会建築	縄文中期住居跡 2、落とし穴 1、土坑 3、ピット 20	町内遺跡群ⅩⅡ
43	大井東台 661-6	(2005.1.13)	964	駐車場	ピット 4	町内遺跡群ⅩⅡ
44	大井東台 664-15	2005.12.8 ～ 28	200	個人住宅	縄文中期住居跡 1、後期住居跡 2、土坑 5、ピット 9	市内遺跡群 2
45	大井東台 710-1 711-1.717-1.717-2	(2006.5.31 ～ 9.1) 2006.9.8 ～ 2007.3.7	7,971	小学校建設	縄文中期住居跡 1、後期住居 2、土坑 5、ピット 10	市内遺跡群 3
46	大井東台 626-11	(2006.9.4 ～ 6) 2006.9.15 ～ 28	100	個人住宅	縄文中期住居跡 2、集石 2、土坑 1	市内遺跡群 3
47	大井東台 602-4.602-5	(2006.9.19 ～ 20)	320	個人住宅	遺構・遺物無し	市内遺跡群 3
48	大井東台 649-21	(2007.1.16 ～ 26)	60	個人住宅	縄文中期住居跡 3	市内遺跡群 3
49	大井東台 646、647-1、 665	(2008.1.28 ～ 30、2.4 ～ 19) 2008.1.31 ～ 2.1	174	通学路築造	縄文時代中期～後期住居跡 1 検出・5 を確認、屋外埋喪 1、粘土探掘坑 1、土坑 1、ピット 1、溝 6	市内遺跡群 4
50	大井東台 716-1 の一部	2008.7.14 ～ 22	646	東台小学校 プール	遺構・遺物無し	市内遺跡群 6
51	大井東台 648-2	(2009.3.10 ～ 18) 2009.3.18 ～ 5.7	296	個人住宅	縄文時代中期住居跡 6、土坑 4、ピット 14、縄文土器、石器	市内遺跡群 6
52	大井東台 626-8.14	2009.5.12 ～ 19	100	分譲住宅	縄文時代中期住居跡 2 確認	未報告

第 54 表 東台遺跡住居跡一覽表 (單位 cm)

住居 番号	調査 年	平面形 ()は推定	規模	軒			埋 費	拡 張	早 溝	備考	時期	文献	
				床 床	埋 込	石 間							
1	80%	(円形)	(550×?)						有	○	竹利系多い	E I 新	東Ⅲ
2	完掘	(円形)	(400)	○							床まで削平	E I 古	東Ⅲ
3	80%	隅丸方形	(?×510)	○	○					○	大木系有り	E I 新古相	東Ⅲ
4	完掘	隅丸方形	700×750	㊟							○ 壁張	E Ⅱ	東Ⅲ
5	完掘	円形	460×470	○						○	床まで削平	E Ⅱ	東Ⅲ
6	完掘	円形	420×430	○							床削平	E Ⅱ	東Ⅲ
7	完掘	円形	510×525×25	㊟					○	○	竹利、連弧多い	E Ⅱ 古	東Ⅲ
8	完掘	隅丸方形	530×(465)×25	○					有	○	7号に切られる	E I 新	東Ⅲ
9	50%	円形	約500	○							床削られる	E Ⅱ	東Ⅲ
10	完掘	円形	410×400			○					掘乱	E I 新	東Ⅲ
11	完掘	円形	410×420	○								E Ⅱ	東Ⅲ
12	20%	円形										E Ⅱ	東Ⅲ
13	完掘	円形	300×270	○								E Ⅲ	資
14	完掘	円形突出	430×418	○			○	○	○			E I 新	資
15	完掘	円形	514×520				○				連弧文多い	E Ⅱ 古	資
16	完掘	長円形	525×424			○					15号を切り、17号に切られる	E Ⅱ	資
17	完掘	長円形、 円形	478×422			○		○	有		竹利系多い	E Ⅱ 新	資
18	90%	円形	523	㊟					有		19号を切る	E I 新	資
19	完掘	隅丸台	517	○	○				有		竹利系多い	E I 古	資
20	完掘	長円形	658×583	○		○					21号を切る	E I 中	資
21	完掘	隅丸台形	482×462			○						E I 新	資
22	55%	円形?	切×292	○	○				○	○	23号を切る	E Ⅱ	資
23	80%	長円形	622×約470						有	○	竹利系多い	勝Ⅲ未	資
24	完掘	長円形	東は区域外			○						E Ⅱ 新	資
25	完掘	長円形?	西南掘乱			○		○			24号に切られる	E Ⅱ	資
26												勝	資
27		長円形	部分発掘									時期不明	
28	完掘	長円形	473×450	○		○						E Ⅱ 新	資
29	完掘	?	切×563	○	㊟			○	有		28号に切られる	E I 新	資
30	完掘	長円形?	切×532							○	31号に切られる	E Ⅱ	資
31	完掘	長円形	618×472	○	○					○	竹利系多い	勝Ⅲ新	資
32	完掘	長円形	573×525								34号と複合	E Ⅱ	資
33	完掘	橢圓形	?×520					㊟		○	32号に切られる	勝Ⅲ	資
34	完掘	隅丸方形	720×628			○				○	32号と複合	E I	資
35	90%	長円形	510×540	○	○	○	○	○				E Ⅱ 古	資
36	35%	円形	西半部不明	○		○	○	○			橢圓形?	E Ⅳ	資
37	完掘	長円形	530×420×15			○	○	○	有		人口部に段	勝Ⅲ古	東Ⅲ
38	40%	隅丸方形	南半部未掘			○					39号を切る	E I 新	東Ⅲ
39	15%	隅丸方形	大部分未掘			不明						E Ⅱ	東Ⅲ
40	35%	隅丸方形	南半部未掘			○				○		E I 新	東Ⅲ
41	完掘	楕円形	480×390×20	○							44号に切られる	勝Ⅲ新	東Ⅲ
42	45%	不明	南部・東部未掘									E I 新	東Ⅲ
43	60%	長円形	650×600×60	㊟					有			E Ⅱ	東Ⅲ
44	完掘	隅丸方形	550×(500)×20	○		○			有	○	41・47号を切る	E I 新	東Ⅲ
45	完掘	長楕円形	740×600×25	㊟		○			有		44号と接する、 2段以上掘張	E Ⅱ	東Ⅲ
46	完掘	楕円形	400×380×10	○							45号に切られる	E	東Ⅲ
47	30%	円形	300×未掘×25								44号に切られる	阿Ⅱ	東Ⅲ
48	20%	隅丸方形	南大部分未掘							○		E I 新	東Ⅲ
49	完掘	円形	560×550×30			○	○					E Ⅱ	東Ⅲ
50	完掘	長円形	420×380×30									阿Ⅱ	東Ⅲ
51	完掘	円形	330×310×30								柱穴なし	阿Ⅱ	東Ⅲ
52	完掘	円形	495×490×50	○	○				有			勝Ⅲ	東Ⅲ
53	完掘	円形	340×310×30	○							8号土坑で壊れる	勝Ⅲ	東Ⅲ
54	40%	円形	?×460×65	○				○	有	○		E I 古	東Ⅲ
55	70%	(円形)	半掘550	○	○				有			阿Ⅱ	東Ⅲ
56	60%	(円形)	(480)×半掘	○	○							E Ⅲ	東Ⅲ
57	完掘	円形	600×600	○		○		㊟				E Ⅱ	
58	完掘	楕円形	520×420			○				○		勝Ⅲ	
59	50%	(楕円形)	560×半掘									E I 新	
60	完掘	円形	520×510	○		○			有			E I 新	
61	50%	(円形)	1/2調査									E Ⅱ	
62	25%	(楕円形)	1/4調査								北大部分未発掘	E I 古	
63	45%		一部調査			未掘		㊟	有	○		E I 古	
64	70%	(楕円形)	453×(408)×22	○		○					65、67宅と複合	E Ⅲ	調Ⅲ集
65	55%	(楕円形)	502×440×22	○					有	○	△1宅複合、東半未発掘	E I 古	調Ⅲ集
66	完掘	(楕円形)	(668×560)×48			○	○	○				E I 新古相	調Ⅲ集
67	完掘	隅丸方形	667×590×72	○					有	○	壁張、64宅と複合	E I 古	調Ⅲ集
68	20%	(楕円形)	(480)×不明×47			未掘					北大部分未発掘	不明	調Ⅲ集
69	75%	(楕円形)	(580)×不明×50				○		有	○	壁張、南部分未発掘	E Ⅱ	調Ⅲ集
70	90%	円形	570×(510)×30	○					○	有		E Ⅱ 中相	阿Ⅳ
71	完掘	(楕円形)	440×410×16	○		○						勝Ⅲ 新	阿Ⅳ
72	15%	隅丸(長)方形	(480)×?			未掘				○	西大部分未発掘	E I 新	阿Ⅳ
73	完掘	楕円形	606×550×30	○				㊟			伏機行、75宅と重なる	E Ⅱ 中相	阿Ⅳ
74	完掘	(楕円形)	612×514×40	○					有			勝Ⅲ 古相	阿Ⅳ
75	70%	橢圓形	(590)×?					○				堀	阿Ⅳ
76	完掘	楕円形	391×366	○							73宅・8号土坑と重なる	E I 新	調Ⅲ集
77	完掘	隅丸六角形	595×480×24	○		○		○				E Ⅱ	阿Ⅳ
78	40%	不明	不明	○		○					床まで削平	E Ⅱ 新相	阿Ⅳ
79	40%	不明	不明			未掘						不明	阿Ⅳ
80	20%	不明	不明			未掘						不明	阿Ⅳ
81	40%	不明	不明	○								不明	阿Ⅳ
82	65%	(円形)	(546)×?						有	○	瓦系統土器多し	E I 新古相	阿Ⅳ
83	30%	(楕円形)	410×310×35			○					覆土内に土坑	勝Ⅲ	阿Ⅳ、市Ⅲ
84	30%	(楕円形)	不明(南大部分未掘)	○							掘乱でかのみ検出	不明	阿Ⅳ
85	完掘	楕円形	530×476	○								不明	調Ⅲ集
86	完掘	円形	464×492	○		○					竹利多し	E Ⅱ 古	調Ⅲ集
87	完掘	橢圓形	415×552	○				㊟				田所、ENV	調Ⅲ集
88	完掘	不明	(465×380)	○		○					床削平	E Ⅲ	調Ⅲ集
89	完掘	不明	(335×315)			○					削平	阿Ⅱ 古	調Ⅲ集
90	30%	不明	(190×60×10)			未掘						阿Ⅳ	

住居 番号	調査 率	平面形 () は推定	規模	土			埋 蔵	掘 張	壁 溝	備考	時期	文献
				地盤	埋設	石積						
91	25%	(円形)	(200 × 170)	○					○	床面まで削平され、92 住 に切られる		町XII
92	25%	(円形)	(330 × 260 × 20)	○					○		跡末	町XII
93		不明	(700)	○						床面まで削平される		町XII
94	33%	隅丸方形	(370 × 180 × 10)									町XII
95	50%	(円形)	(504 × 423)							96・97 住と複合		市2
96		円形	(560 × 555)							95・97 住と複合		市2
97		不明	不明							95・96 住と複合		市2
98	60%	(隅丸方形)	(7 × 610) × 35	○		△	有				E II 新	市3
99	10%	(楕円形)	(7) × 18			未掘				覆土内に集石	E II	市3
100	25%	(楕円形)	(7) × 12			未掘				99・170 住を埋める	E II	市3
101	完掘	円形	695 × 600	○							E I 新	東IV
102	完掘	円形	480 × 460	○							E Ⅰ	東IV
103	完掘	隅丸方形	700 × 615	◎						有孔置付土器多い		東IV
104	50%	円形	500 × 500	○							E I 新(古)	東IV
105	完掘	楕円形	460 × 430	○		○	○			竹刺系多い	E I 新(古)	史30集
106	完掘	円形	450 × 410	○		○					E II 古	史30集
107	完掘	楕円形	380 × 390	◎							E I 新	資
108	完掘	長円形	395 × 325	○							E IV	資
109		楕円形										
110	完掘	円形	406 × 406	○						北関東系有り	E I 新	資
111	完掘	隅丸長方形	486 × 437	◎		○	○				E I 新	資
112	完掘	円形	約420 × 408	○							E II	資
113	完掘	隅丸方形	450 × 460	○		○	○			竹刺系多い	E I 新	東台II
114	完掘	長円形	510 × 450	○							跡末	東VI
115	完掘	長円形	545 × 495	○							跡末～E I	東VI
116	完掘	長円形	575 × 520	○							E I 末	東VI
117	完掘	楕鏡形?	(640) × 590	○				有	○	入口有り	E IV	東VI
118	80%	隅丸方形	450 × 410 × 420	○		○	○	有	○		E I	東VI、VII
119	完掘	円形	770 × 750							120 号住居と重複	E II	東VI、VII
120	完掘	楕鏡形	390 × (750)	土器・石制炊具	◎		有	○		竈穴、埋設3	E IV	東VI、VII
121	完掘	長方形	530 × 430				有	○		北カマド・東カマド	平安	東VII
122	完掘	方形	400 × 370							東カマド、渠跡土器 甕(甕)	平安	東VII
123	完掘	円形	365 × 350				有				秀山D	東VII
124	完掘	正円形	465 × 455 × 7								E II	東VII
125	完掘	楕円形	420 × 370	○							阿見	東VII
126	完掘	楕円形	465 × 420	○		○					E I 新	東VII
127	完掘	長楕円形	565 × 485 × 10	◎			有				E I 新	東VII
128	完掘	長円形	510 × 480	○		○	○	有	○	129 住に切られる	E I 新	東VII
129	完掘	隅丸方形	560 × 530	○						128 住を切る	E II	東VII
130	70%	楕円形	540 × 510 × 20	○			有	○			E I 新	東VII
131	完掘	不整円形	600 × 580			○		有	○		E I	東VII
132	完掘	隅丸方形	494 × (480)				有	○		複合著しい	E I 新	調17集
133	完掘	隅丸方形	580 × 520	○			有	○		円盤、耳栓	E I 新(中)	調17集
134	70%	隅丸方形	(434 × 344)	○		○	有	○			E I 占	調17集
135	完掘	長円形	532 × 452	○							E I 新	調17集
136	完掘	楕円形	460 × 396	○		○		有	○		E I 新	調17集
137	完掘	不整形	(836 × 820)	○			有			粘土	調17集	調17集
138	完掘	不明	470 × 490	○		○		有		139 住と複合	跡山D	調17集
139	完掘	楕鏡形	556 × 566	○		○	○			138 住と複合、土製品	E IV	調17集
140	完掘	隅丸方形	372 × 340								跡山末	調17集
141	完掘	(楕円形)	(536 × 512)	○		○				西部155 住と複合	路沢	調17集
142	完掘	楕円形	414 × 396	○		○					E Ⅰ古	調17集
143	完掘	楕円形	446 × 340	○		○	○	有	○		E I 新	調17集
144	完掘	隅丸方形	520 × 556	○		○		2 回	○	複合か	E I 新(古)	調17集
145	完掘	楕円形	536 × 448	○				2 回	○	か内(北関東加賀)	E I 新(古)	調17集
146	完掘	(隅丸方形)	(526 × 454)	○			○	有			E I 新(古)	調17集
147	95%	楕円形	564 × 560			◎	○	3 回	○		E I 新(古)	調17集
148	35%	不明	436 × ?			未掘		有	○		E I 新(中)	調17集
149	完掘	楕円形	388 × 410			○					E II	調17集
150	65%	(楕円形)	(538 × ?)	○				有	○	151 住と複合、 迦弧文、条線多い	E II 新組	調17集
151	40%	(隅丸方形)	602 × 7	○		○	○	有	○	150 住と複合	E I 新新組	調17集
152	完掘	(楕円形)	556 × 500	○	◎	○	○	有	○	か内土器	E Ⅰ古	調17集
153	完掘	(楕円形)	(616 × 544)		◎			有			跡山	調17集
154	60%	(隅丸方形)	(364 × 544)	○				有			E II 古(古)	調17集
155	完掘	楕鏡形	670 × 708	○			○	有		141 住と複合、菱形土器、三	E Ⅰ古	調17集
156	完掘	楕円形	366 × 304					有			E I 新	調17集
157	完掘	楕円形	530 × 526	○			○	有	○		E I 新新組	調17集
158	完掘	楕円形	372 × 438	○				有			E I 新(中)	調17集
159	完掘	(楕鏡形?)	(686 × 530)								粘土	調17集
160	完掘	(楕円形)	(488 × 484)								跡山D	調17集
161	完掘	隅丸方形	504 × 514	◎			○	有	○	床(ミニチュア)土器2個	E II 新、VII	調17集
162	完掘	楕円形	不明	○			○			削平	E IV、VIII	調17集
163	30%	(隅丸方形)	(216) × 288								E II	調17集
164	60%	(円形)	(566 × 416)	○							E II 新組	調17集
165	40%	不明	(350 × 496)	○							屋	調17集
166	完掘	不明	(300 ? × 250 ?)	○							不明	未報告
167	70%	不明	(400 ? × ?)	○							不明	未報告
168	完掘	不明	(300 ? × 300 ?)	○							不明	未報告
169	完掘	不明	(270 ? × 270 ?)	○							不明	未報告
170	10%	不明	(7) × 18								不明	市3
171	50%	楕円形	450	○						部分発掘、保存	不明	市4
172	トレンチ	不明	(510)			未検出				173 住より新しい、未調査、保存	不明	市4
173	トレンチ	不明	不明			未検出				172 住より新しい、未調査、保存	不明	市4
174	トレンチ	不明	(630)			未検出				173 住より新しい、未調査、保存	不明	市4
175	トレンチ	不明	(690)			未検出				未調査、保存	不明	市4
176	トレンチ	不明	(460)			未検出				未調査、保存	不明	市4
177	10%	(楕円形)	(330) × 405 × 27	○						部分発掘、保存、182 住より旧	跡末	市6
178	50%	(円形)	430 × (235) × 49			○				181 住より新	加 E II	市6
179	60%	(円形)	(385) × (225) × 31			○					加 E II	市6
180	完掘	楕円形	482 × 440 × 42	○					○		跡末	市6
181	50%	不明	不明							178 住より旧	加 E II	市6
182	10%	円形	410 × 362 × 23	○						部分発掘、保存、 177 住より新	跡山	市

湖＝上井町遺跡調査会　資＝上井町中資料組　山＝上井町中料　東＝東部遺跡群　町＝町内遺跡群　市＝市内遺跡群

II 東台遺跡第 50 地点

(1) 調査の概要

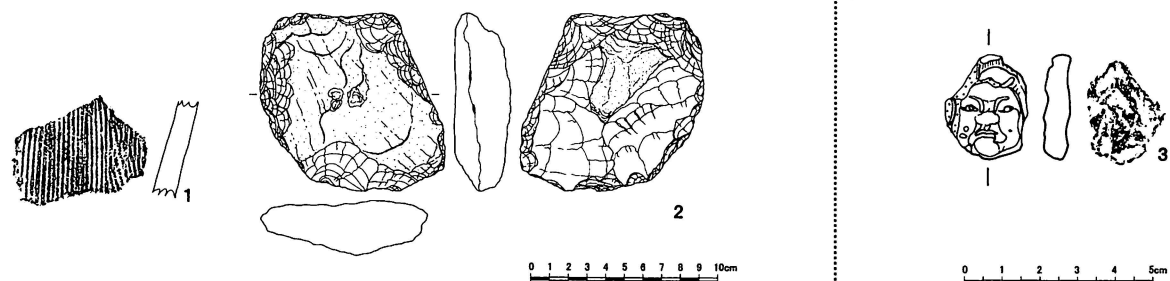
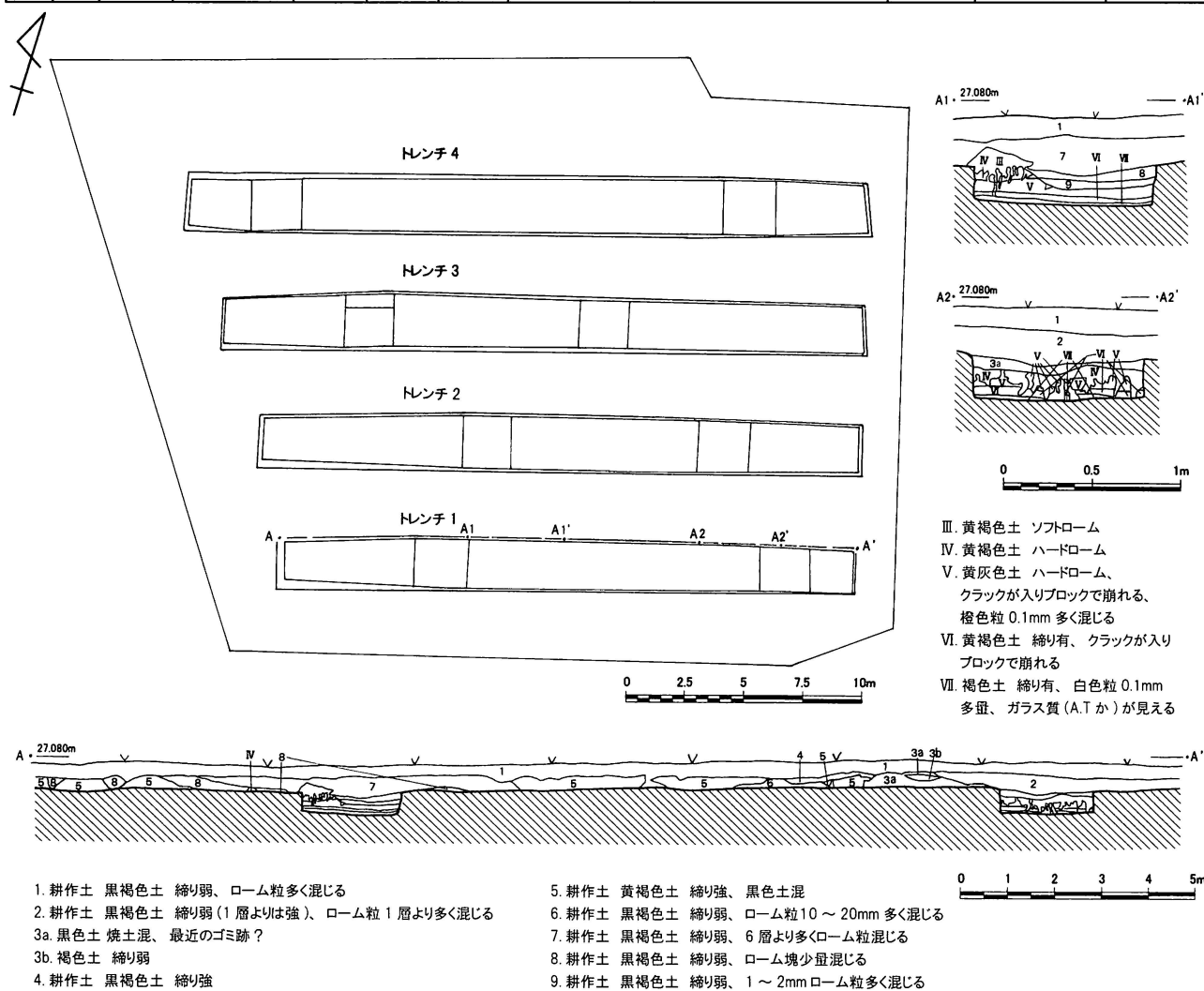
調査は小学校建設に伴うもので、ふじみ野市長より 2008 年 4 月 17 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」が市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南西端に位置しているため、東台小学校建設準備室と協議の結果、遺跡範囲と遺構確認の試掘調査を実施することになった。

試掘調査は 2008 年 7 月 14 日から同年 7 月 22 日

まで行なった。幅約 2 m のトレンチを 4 本設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行なったが遺構・遺物は検出しなかった。引き続き旧石器時代の確認調査を行なうため 2 × 2 m のグリッドを 8 ケ所設定し、ローム層を深掘りしていったが遺構・遺物は検出しなかったため慎重工事とした。確認面まで 50cm を測る。写真撮影・平板測量による全測図等記録保存を行ない、調査を終了した。

第 55 表 東台遺跡第 50 地点出土遺物観察表 (単位:cm)

図版番号	掲載番号	遺構名	種別・器種	口径・長	底径・幅	器高・厚	技法 / 文様 / その他	石材 / 推定生産地	推定年代・時期	残存 / 備考
114 図	1	遺構外	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 条線を縦に施文 / 砂粒少量含む / 注 No. H		縄文中期後半	胴部片
	2	遺構外	石器・打製石斧	(9.40)	9.73	2.98	重量 350.97g / 両極敲打技法 / 注 No. H	緑泥片岩	縄文時代	基部欠
	3	遺構外	土製品・泥面子	2.8	2.2	0.6	型押成形 / 阿修羅?。裏面に指頭圧痕 / 橙色 / 砂粒少量含む / 注 No. H		1790 年代～1890 年代	一部欠



第 114 図 東台遺跡第 50 地点遺構配置図 (1/300)、土層図 (1/150・1/80)、出土遺物 (1/4・1/2)

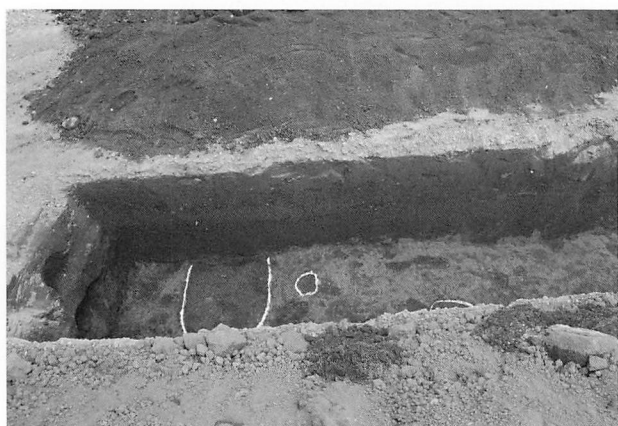
小田久保遺跡第 7 地点、本村遺跡第 119・120 地点、東台遺跡第 50 地点



小田久保遺跡第 7 地点全景



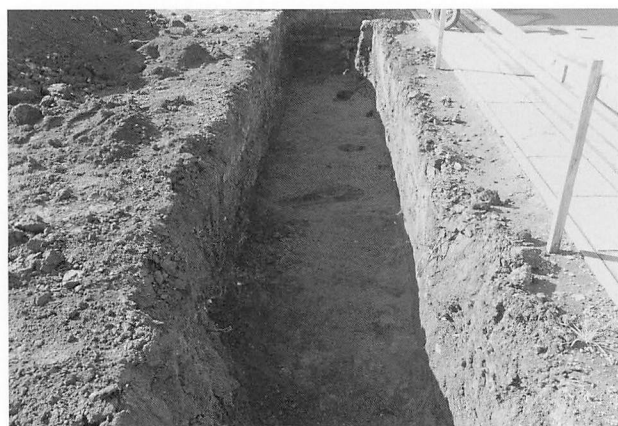
小田久保遺跡第 7 地点調査風景



本村遺跡第 119 地点トレンチ 3



本村遺跡第 119 地点調査風景



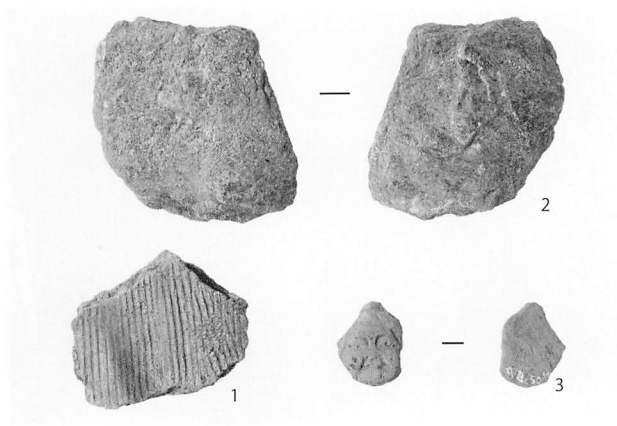
本村遺跡第 120 地点



本村遺跡第 120 地点調査風景



東台遺跡第 50 地点全景



東台遺跡第 50 地点出土遺物 No.1 ～ 3